

## 銅 鐘

勝福寺観音堂の東側に建っている鐘楼にかけられている「銅鐘」は、高さ一一八センチ、口径六五センチの小型の鐘で、葦名盛興とその父盛氏の寄進である。

銘の切り手は、会津の刀工として名高い古川兼定である。  
銘に

「奥州会津耶麻郡勝村

勝福寺別当満勝院

本願観行坊慶算当寺

大旦那平盛興並隠居盛氏

鑄師大工早山主殿助並小工太郎左衛門

銘帳切手兼定

諸行無常 是生滅法

生滅々已 寂滅為樂

並諸旦那等現世安穩後生

善所無疑者也

永禄七年<sup>甲</sup>季夏日<sup>子</sup>

とある。

(現在は解読不能)

永禄七年は一五六四年である。

所在地 関柴町三津井字堂ノ前 勝福寺

指定年月日 昭和三十年十二月二十七日

